

2020年10月23日

相模原市

令和2年度相模原市IR資料



潤水都市 さがみはら

トピックス	3
1. 相模原市のプロフィール	6
2. 財政状況について	10
3. 「潤水都市さがみはら」の 発展の可能性について	20
4. 堅実な財政運営の堅持に向けて	22
5. 市債運営について	26
お問い合わせ先	

トピックス-1

2020年度SDGs未来都市に相模原市が選ばれました！

SDGsの推進に向けた取組と、発展を続ける都市部と雄大な自然の調和や共生社会の推進など、高いポテンシャルが評価され、令和2年7月17日に、相模原市が「SDGs未来都市」に選定されました。



SDGs未来都市とは？

SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。

令和2年度は新たに33都市（累計93都市）が選定されました。

トピックス-2

リニア中央新幹線の駅が橋本駅付近に建設予定

首都圏南西部の新しい玄関口へ！！



・リニア中央新幹線駅が
本市「橋本駅付近」に
建設予定

令和9年開業予定
(品川－名古屋)
・車両基地も緑区鳥屋に
建設予定

(東海旅客鉄道株式会社作成「中央新幹線(東京都・名古屋市間)環境影響評価書(神奈川県)」に一部加筆)

■期待される効果

- ・業務、商業、文化などの多様な都市機能の充実
- ・交流人口の拡大
- ・税収の増加
- ・シティセールス効果 など



写真提供: 東海旅客鉄道株式会社

トピックス-3

財政状況

財政健全化指標の状況

- 1 実質公債費比率は 20指定都市で2位
- 2 将来負担比率は 20指定都市で5位
- 3 財政力指数は 20指定都市で8位
- 4 全債務の歳入に対する割合※は 20指定都市で1位

(令和元年度決算)

相模原市は、財政健全化指標の定着等により、格付け取得 (STANDARD&POOR'S社) を平成25年2月からとりやめています。

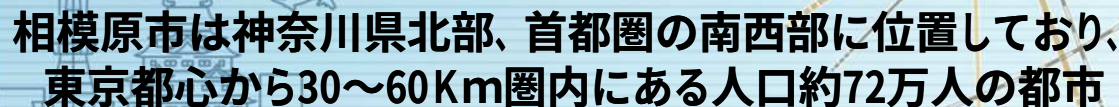
※全債務の歳入に対する割合: (全会計市債残高+債務負担行為支出予定額) を歳入合計で除した割合 (P17参照)

1. 相模原市のプロフィール



潤水都市 さがみはら

産業・経済の発展と市民生活の更なる向上をめざす街、さがみはら。



◎ 經濟學博士課程畢業生：

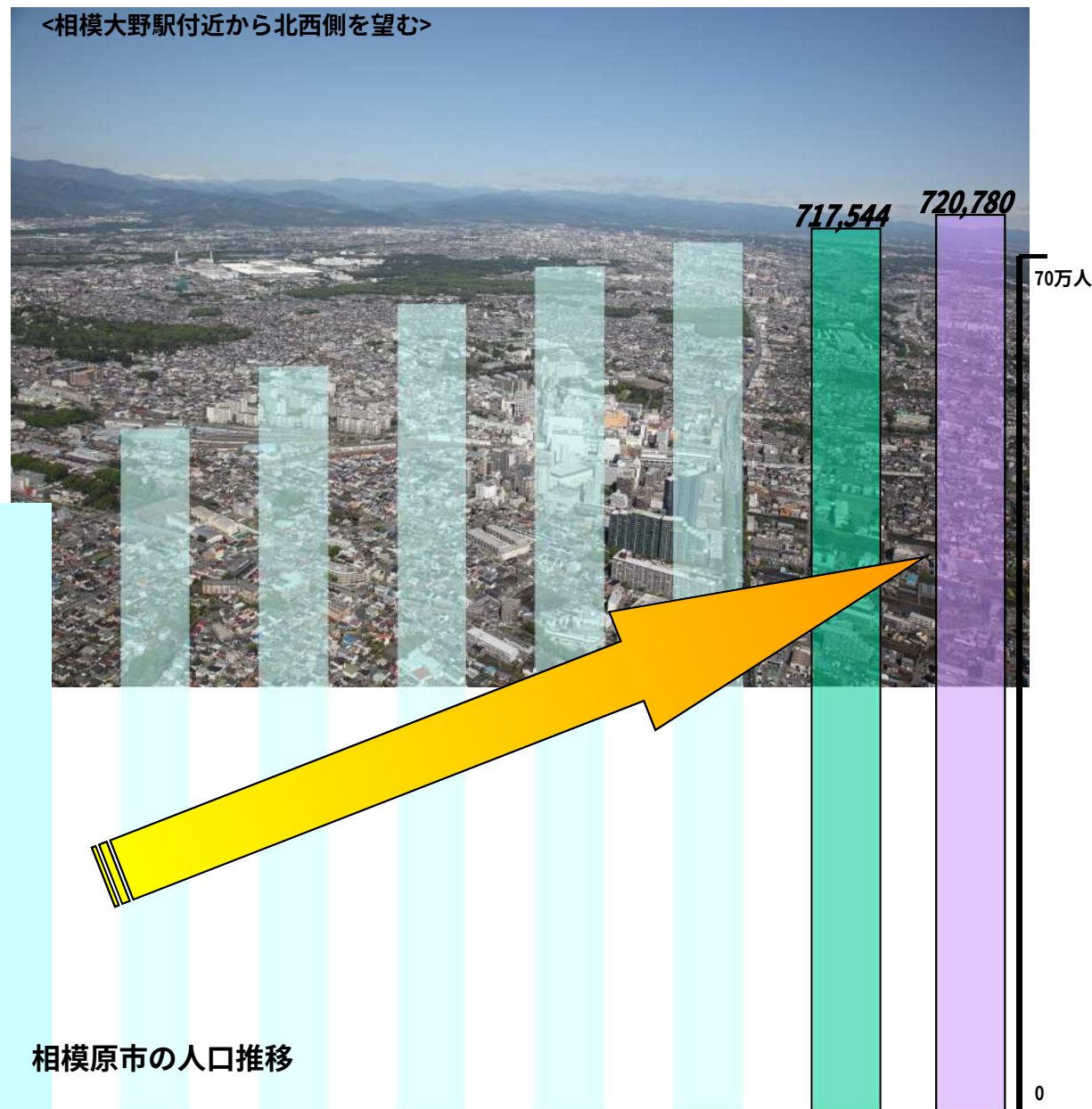
相模原市の概要-2

市の沿革

- 昭和29年 市制施行
- 昭和30年 工場誘致条例制定
- 昭和33年 市街地開発区域第1号指定
- 《内陸工業都市として発展》
- 昭和40年代 年間2万人以上の人口増加を経験
- ベッドタウン化の進行
- 《全国でもまれにみる人口急増都市》
- 平成11年 業務核都市指定
- 平成15年 《中核市へ移行》
- 平成18年 津久井町、相模湖町と合併
- 平成19年 城山町、藤野町と合併
- 平成22年 《指定都市へ移行》
(全国で19番目、戦後誕生した市としては初)
- 平成26年 市制施行60周年

66歳
(指定都市平均119歳)
80,991

<相模大野駅付近から北西側を望む>



相模原市の人口推移

昭和30年

35年

40年

45年

50年

55年

60年

平成2年

7年

12年

17年

22年

27年

相模原市の概要-3

潤水都市 さがみはら



潤水都市 さがみはら

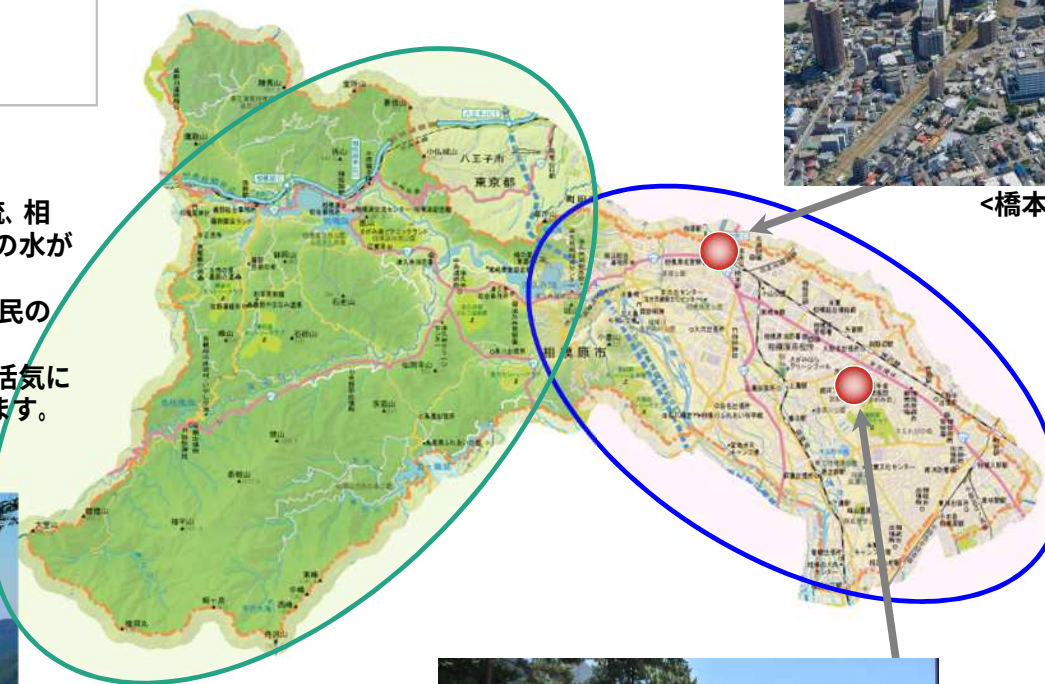
○「潤水都市 さがみはら」 に込められた思い

- ・相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有しています。
- ・清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちています。
- ・戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、「純粋」という言葉にかけています。



<相模湖周辺>

西部の津久井地域は、丹沢の山々と湖が、水源地の豊かな自然環境を形成



<橋本駅周辺>

東部の旧相模原市地域は、平坦な市街地において密度の高い土地利用が進む



<JAXA 相模原キャンパス(宇宙科学研究本部)>

美大・医大などの多様な大学やJAXA等、学術・研究機能が集積する都市

2. 財政状況について

小粒だけど堅実な財政運営



財政規模

小粒だけど堅実な財政運営

令和元年度普通会計決算収支状況

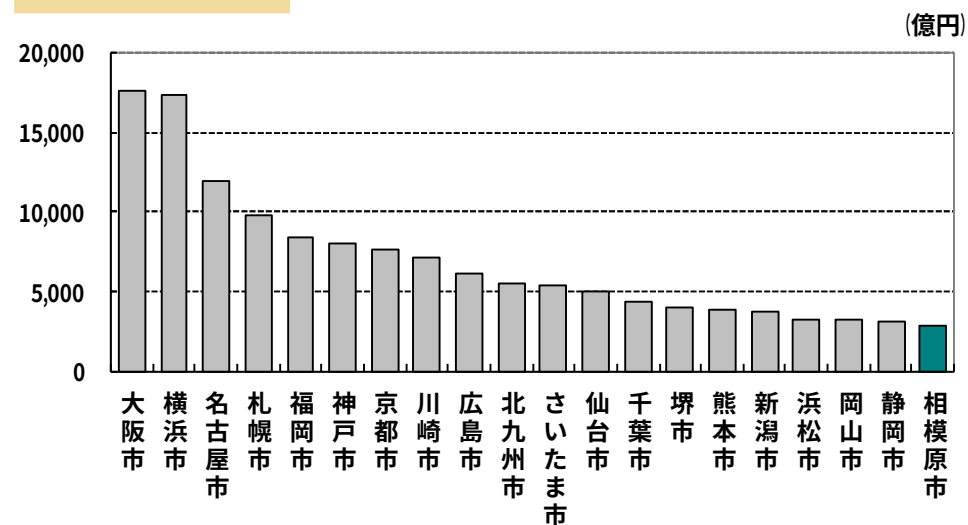
項目	金額	備考
歳入総額	306,647	財政規模は指定都市 20位／20都市 (指定都市の 歳入平均716,446百万円)
歳出総額	296,379	
歳入歳出差引	10,268	
実質収支	9,103	実質収支比率 5.3%
市民一人あたりの歳出決算額 (千円)	412.6	指定都市 20位／20都市

- 財政規模は指定都市の中で最も小さな規模
- 市民一人あたりの歳出決算額も最も少額

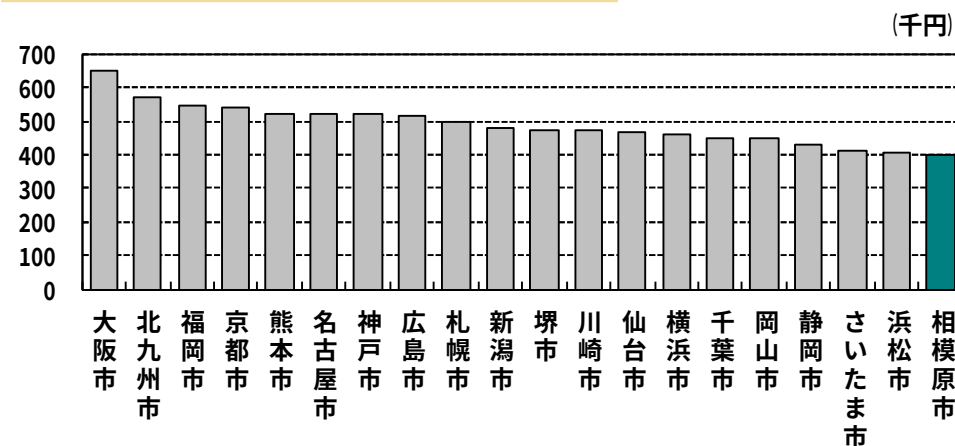
※「一人あたり」の指標の積算は、1月1日現在の住民基本台帳人口割

令和元年度普通会計決算規模

歳出総額比較



市民一人あたりの歳出決算額比較



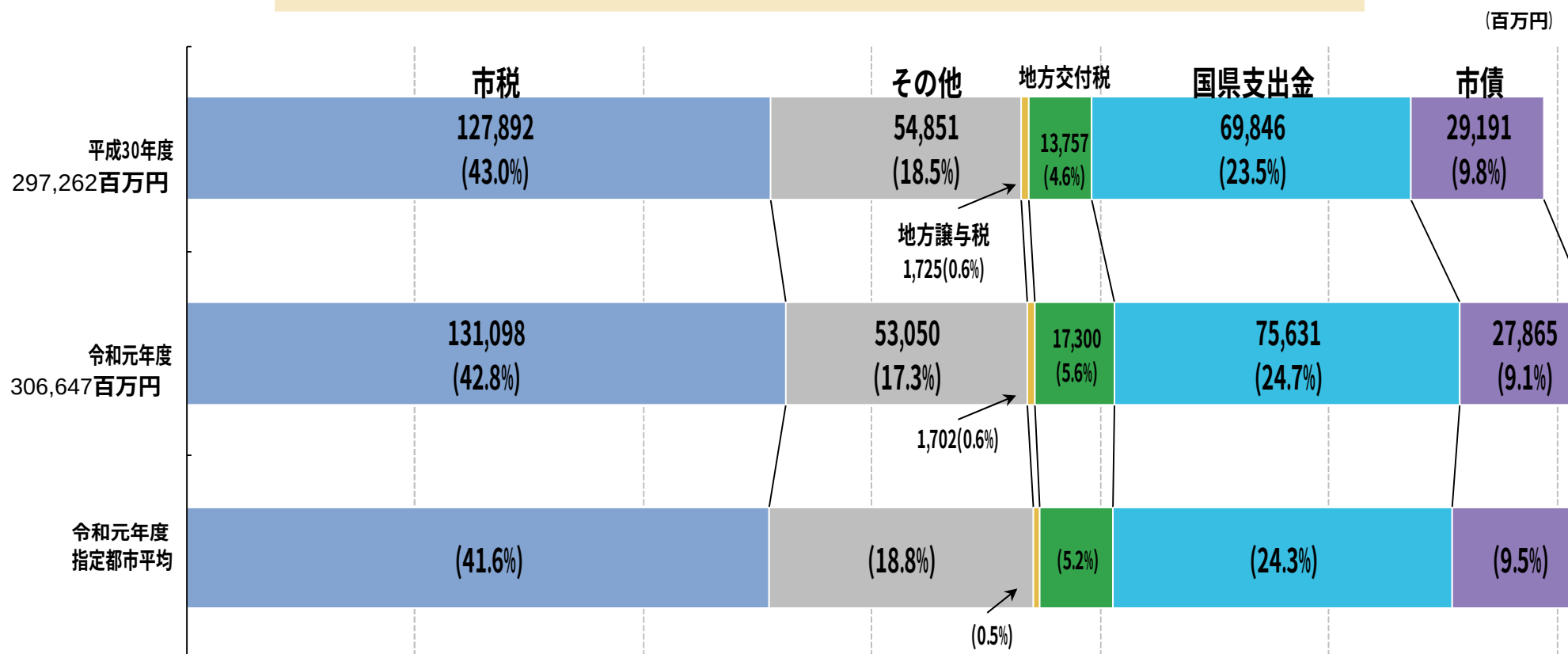
歳入について-1



潤水都市 さがみはら

歳入

- 歳入は約3,066億円で、前年度より3.2%増加
- 県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に係る県民税所得割臨時交付金の移行や雇用・所得環境の改善による個人住民税の増加等により市税は前年度比2.5%の増加
- 市税は市の歳入の約4割を占めており、平均と比べ高い割合となっている

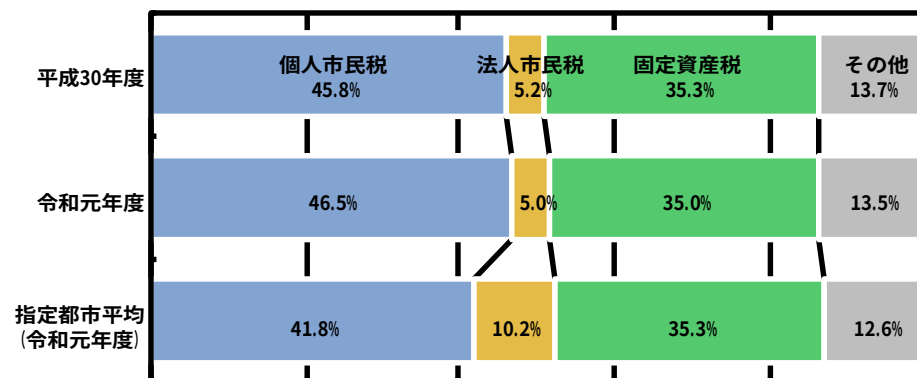


歳入について-2

市税の状況

- 個人市民税は県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に係る県民税所得割臨時交付金の移行や雇用・所得環境の改善により増加
- 市税総額は増加
- 他市に比べ、個人市民税の割合が大きく、法人市民税の割合が小さい

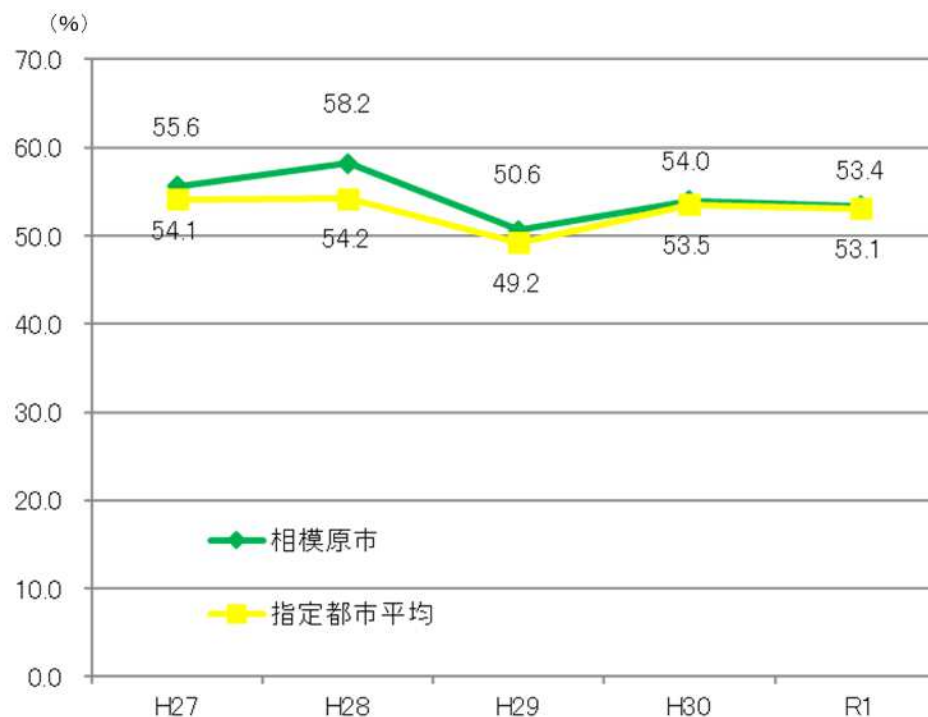
市税収入額 (百万円)	個人 市民税	法人 市民税	固定 資産税	その他	計
平成30年度	58,580	6,670	45,180	17,462	127,892
令和元年度	60,132	6,493	45,856	18,617	131,098



自主財源比率

- 5割以上を自主財源が占める
- 規模は小さくても十分な財源調達

相模原市	指定都市 平均	H30: 9位/20都市 R元: 9位/20都市
53.4%	53.1%	



歳入について-3



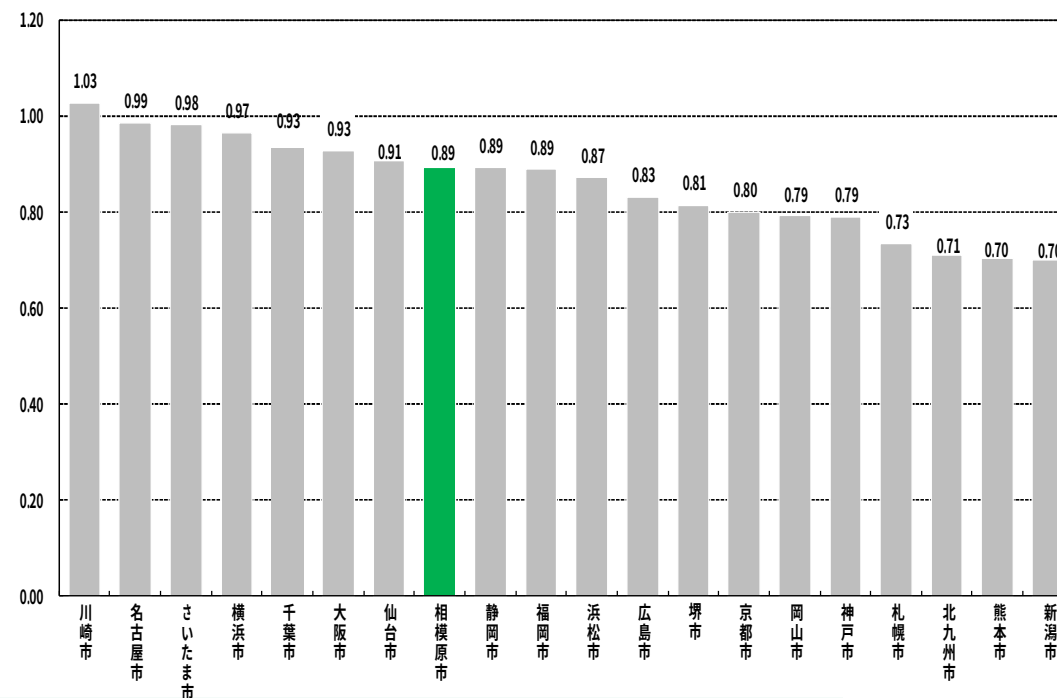
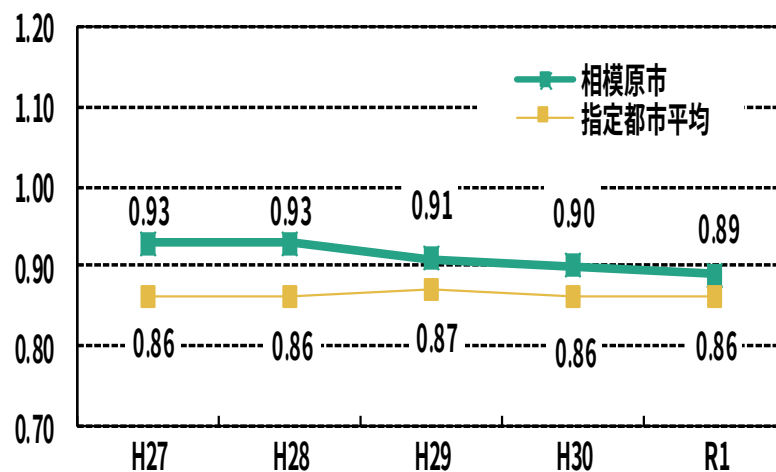
潤水都市 さがみはら

財政力指数

- 令和元年度の財政力指数 (H29～R1の3ヵ年平均) は「0.89」
- 川崎市、名古屋市、さいたま市、横浜市、千葉市、大阪市、仙台市について8位

財政力指数 (3ヵ年平均)

相模原市	0.89	8位 / 20都市
指定都市平均	0.86	



- 市税等の自主財源の割合が高く、自立的で安定的な財政運営

歳出について-1

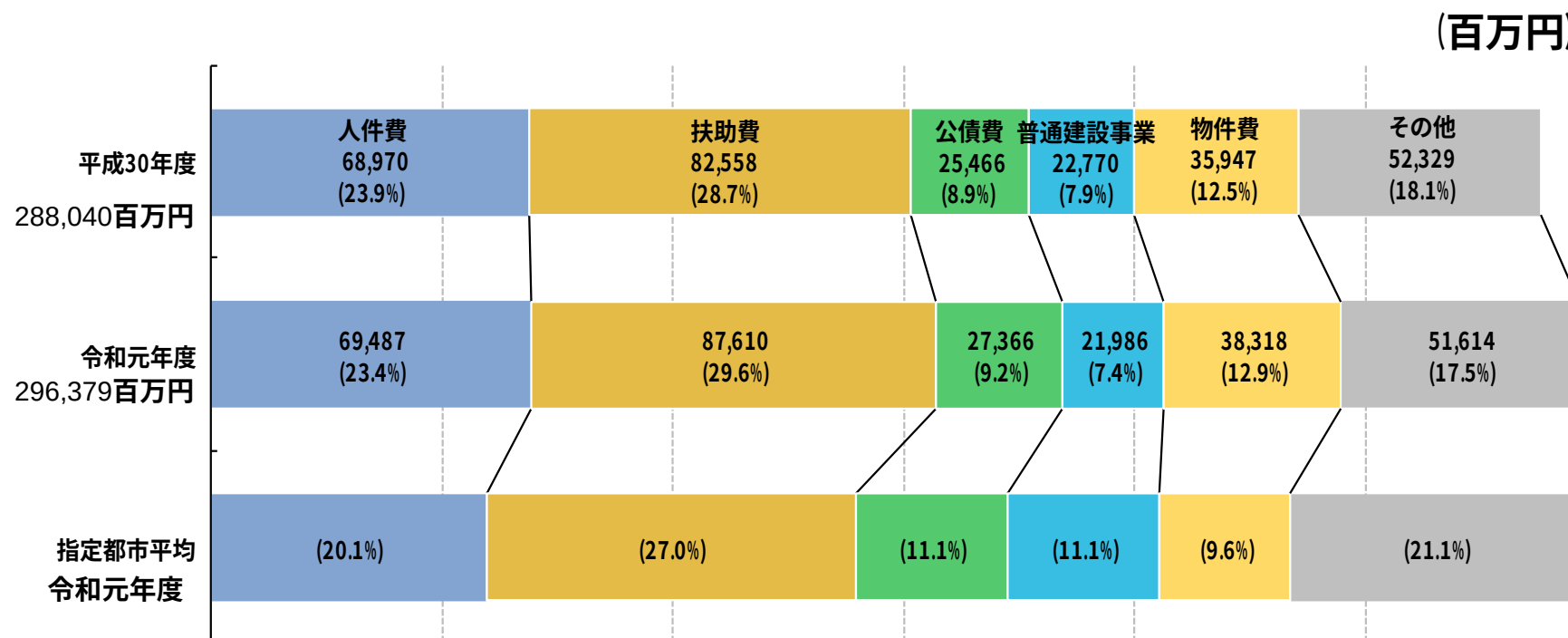
潤水都市 さがみはら

歳出

- 歳出は約2,964億円で、前年度より2.9%増加
- 扶助費が幼児教育・保育の無償化の実施等により増加
- 物件費がプレミアム付商品券事業の実施、令和元年東日本台風に係る災害救助費により増加
- 他都市に比べ 人件費の割合は高いが、市民一人あたりの人件費は少ない
公債費の割合は低く、市民一人あたりの公債費も少ない

市民一人あたりの人件費
約96,738円 (指定都市6位)
指定都市平均約103,263円

市民一人あたりの公債費
約38,098円 (指定都市1位)
指定都市平均約57,095円





歳出について-2

1 義務的経費の推移

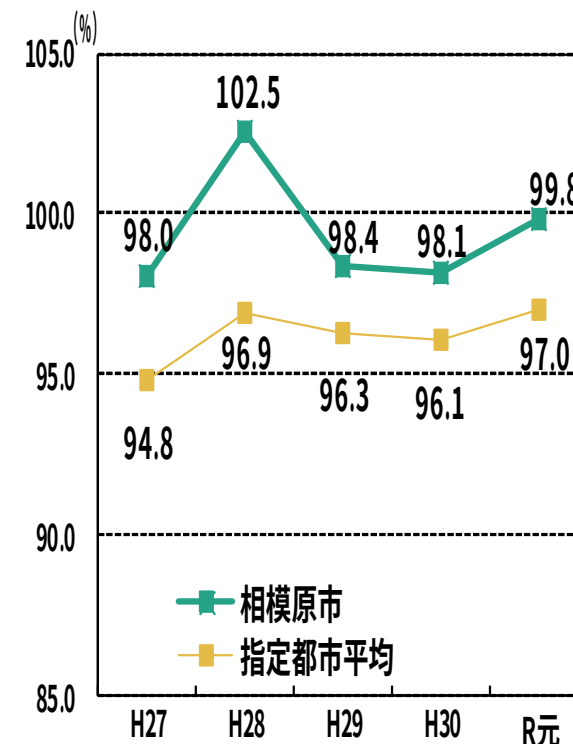
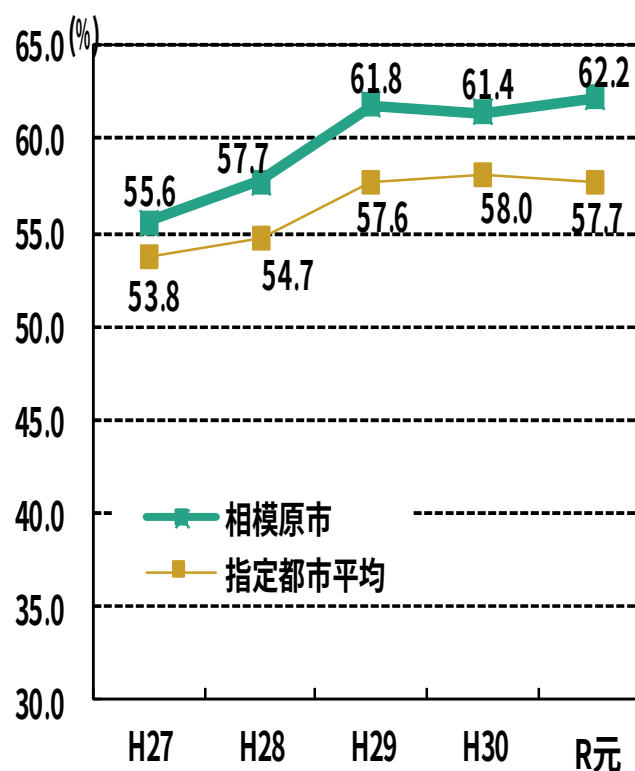
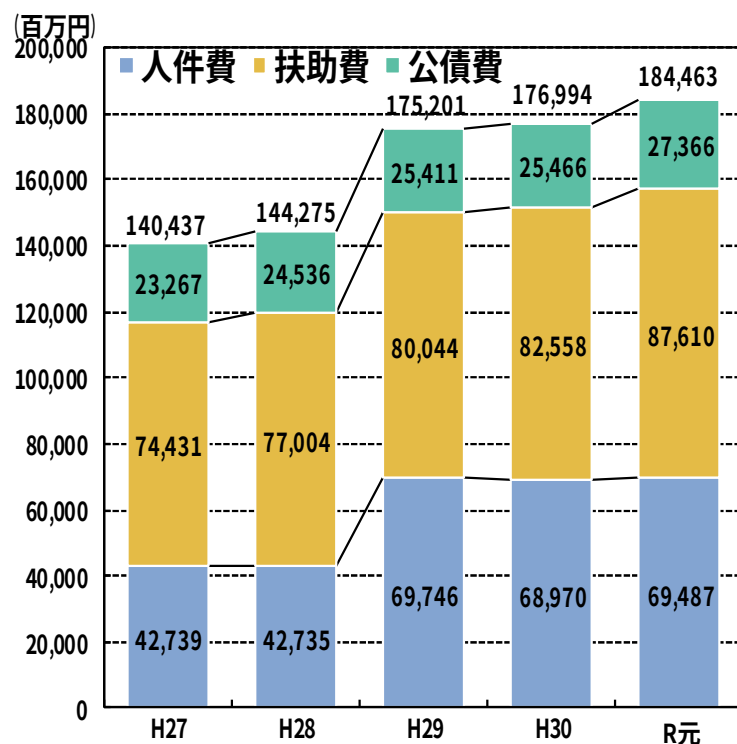
- 人件費 令和元年東日本台風等の対応による時間外勤務手当等により増加
- 扶助費 幼児教育・保育の無償化の実施等により増加
- 公債費 横ばいから若干の増加

2 歳出に占める義務的経費の割合

- 扶助費の増加したことにより増加

3 経常収支比率

- 扶助費、物件費等が増加したことにより増加



市債残高と財政健全化指標について-1

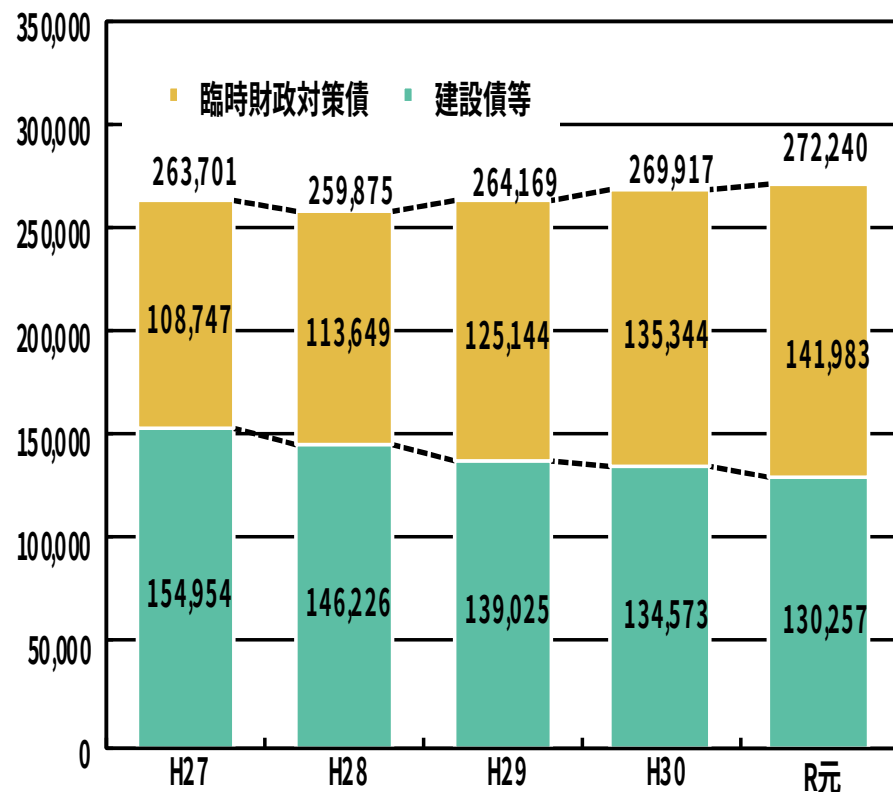
潤水都市 さがみはら

市債残高の状況

建設債等の残高は横ばいから若干の減少
臨時財政対策債の残高は年々増加
(残高の約50%を占める)

市債残高 (普通会計)

(百万円)



		平成30年度末	令和元年度末	指定都市 平均	順位 (20市中)
市債残高 (億円)		269,917	272,240	898,205	2位
市民一人あたりの 市債残高 (千円)		375.7	379.0	652.3	3位
歳入総額に対する 市債残高の倍率		0.91	0.89	1.25	3位
健全化指標	実質赤字比率	—	—	—	—
	連結 実質赤字比率	—	—	—	—
	実質公債費 比率	2.7	2.7	7.3	2位
	将来負担比率	33.3	31.3	88.4	5位

全会計の市債残高と債務負担行為

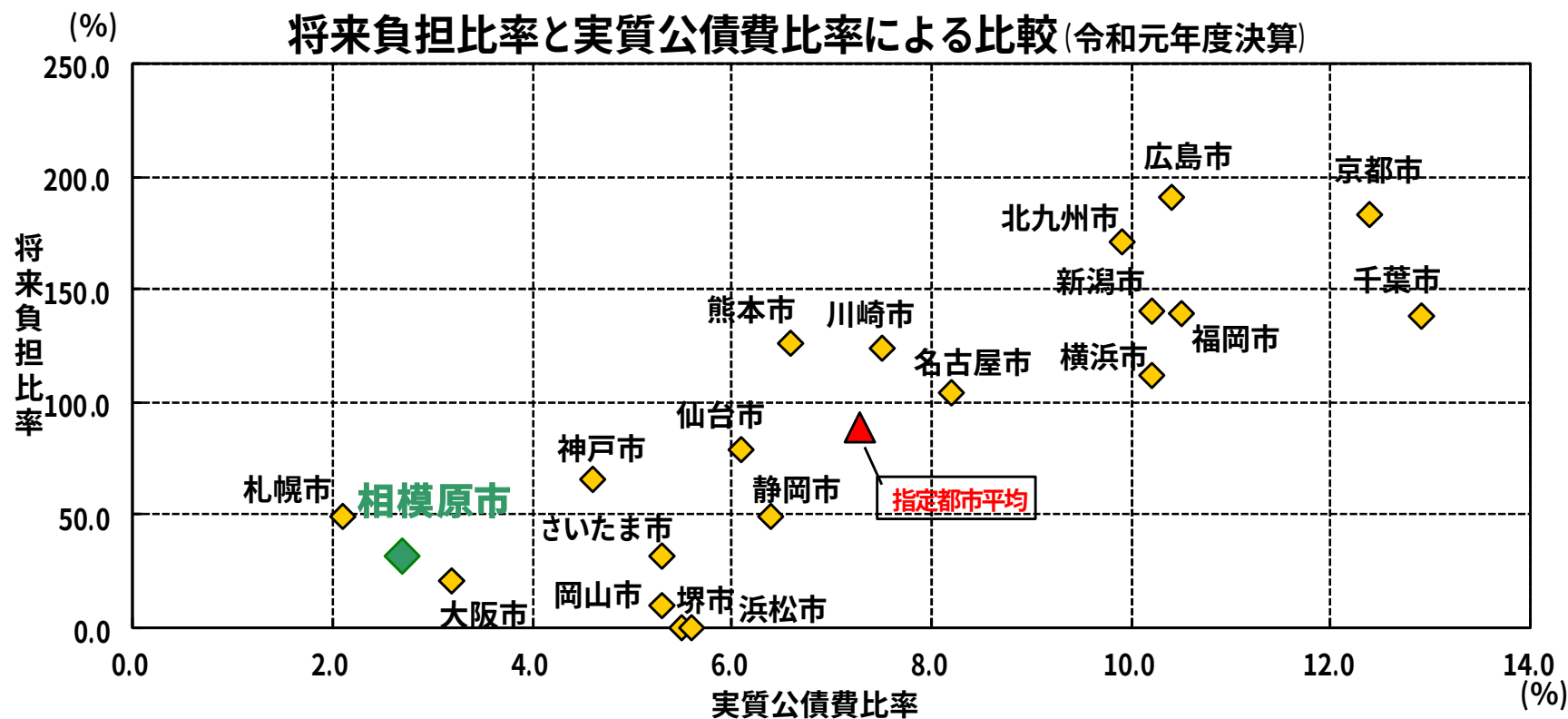
(百万円)

令和元年度末現在	相模原市	指定都市平均	指定都市中の相模原市の順位
(A) 全会計の市債残高	379,064	1,545,018	1位
(B) 債務負担行為翌年度以降支払予定額	59,420	142,709	3位
(C) 計 (A)+(B)	438,484	1,687,726	1位
歳入総額に対する (C)の倍率	1.43	2.36	1位

市債残高と財政健全化指標について-2

健全化指標

- 実質公債費比率は前年度と同率、将来負担比率は前年度から2.0ポイントの減少
- いずれの指標も本市財政の健全性を示すものとなっている



3. 「潤水都市さがみはら」 の発展の可能性

これからの街、さがみはら



潤水都市 さがみはら

発展の可能性

潤水都市 さがみはら

アクセス性の向上に向けた交通インフラの整備



平成26年10月に、工事実施計画が認可されたリニア中央新幹線。令和9年の品川・名古屋間の開業をめざし、JR東海が整備を進めています。



約214%の広大な相模総合補給廠。平成26年9月には、その一部、約17%が国に返還され、首都圏西部の交通ネットワークの充実や、都心へのアクセス性向上など利便性を高めるため、小田急多摩線の延伸に向けた取り組みも進めています。



市内に2カ所のインターチェンジ(IC)が設置され、市内区間の全線が開通した圏央道。首都圏の高速道路を連結する環状道路として主要都市へのアクセス向上が期待されます。

4.堅実な財政運営の堅持に向けて



堅実な財政運営の堅持に向けて-1

1 独自に起債上限額をルール化

財政健全化法などで求められる公債費（償還額）や残高の規制だけにとどまらず、平成23年度以降、借入れ時の自主的な目標を設定し、自律的で持続可能な財政運営を目指す

起債上限額の目標設定状況と実績

目標額、実績額は、いずれも一般会計

年 次	上限目標	実 績（うち臨時財政対策債）	備 考
H23～25（3か年）	1,000億円 （平均333億円/年）	993億円（ 424億円）	達成
H26～28（3か年）	950億円 （平均317億円/年）	691億円（ 373億円）	達成
H29～31（R1）（3か年）	300億円 ※臨時財政対策除く （平均100億円/年）	811億円（ 509億円）	達成

2 行財政改革の断行

さがみはら都市経営ビジョン 平成17年策定 ⇒ 具体的な行動計画としてアクションプランを策定
さがみはら都市経営指針 平成25年策定 ⇒ 具体的な行動計画として実行計画を策定
第2次さがみはら都市経営指針 平成29年策定 ⇒ 「新・相模原市総合計画後期実施計画」連携し、具体的な行動計画として実行計画を策定

アクションプラン	平成17～21年度	85項目を設定	効果額 約76億円
アクションプラン 改定版	平成22～24年度	達成済み項目を除く 72項目を設定	効果額 約17億円
実行計画	平成25～28年度	さがみはら都市経営指針 に基づき 46項目を設定	効果額 約21億円
第2次 実行計画	平成29～31年度 （令和元年度）	新たに策定された第2次都市経営指針に 基づき59項目を設定	

主な取組

- 民間活力導入の促進
- 積極的な歳入確保
- 債権回収の強化
- 受益者負担の適正化
- 市単独事業の扶助費等の見直し
- 職員定数の適正管理
- 公共施設マネジメントの推進

堅実な財政運営の堅持に向けて-2

3 財政情報のスピーディーかつ積極的な公表・公開

市民向け情報、投資家向け情報ともに、適時性を持った積極的な財政情報の公表・公開を推進

相模原市の情報公開に関する特徴的な取り組み

- 財政パンフレット（予算事始）※R元、R2年度分は作成しておりません
- 相模原市財政の状況
- 他都市比較で見る相模原市財政の状況
- 市HPへのIR情報掲載
- 財務諸表関連情報は附表を含め全文を市HPに掲載

（上記情報URL：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1003966/index.html>）

相模原市のIR活動について

- 機関投資家等の個別訪問
- HP等での、適時／公平／継続的な情報公開

5. 市債運営について



市債運営について

- ・資金調達を公的資金から民間資金へシフトし、財政運営の自立性を高めます
- ・相模原市は、市場公募地方債を継続的に発行し、流動性の確保を図ります

資金計画の状況 (一般会計分)

(百万円、%)

資金区分	平成21年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公的資金	14,419 (60.9%)	2,782 (9.7%)	1,974 (7.4%)	77 (0.2%)
全国型市場公募地方債 (10年債)	0 (0.0%)	10,000 (34.8%)	10,000 (37.3%)	15,000 (44.0%)
住民参加型市場公募地方債 (5年債)	1,000 (4.2%)	0 (0.0%)	※ 0 (0.0%)	※ 0 (0.0%)
銀行等引受債ほか	8,261 (34.9%)	15,790 (55.0%)	14,807 (55.3%)	14,807 (55.8%)

令和2年度第1回相模原市公募公債

愛称名	潤水都市さがみはら債 (10年債)
発行時期	令和2年10月
発行規模	150億円

※住民参加型市場公募地方債については、最近の低金利の市場環境では魅力ある商品性の確保が困難なため、平成28年度より当面の間、発行を休止しています。

お問い合わせ先

相模原市財政局財政部財政課 市債担当

TEL 042-769-8216 FAX 042-751-0208

Mail zaisei@city.sagamihara.kanagawa.jp

HP <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

